

第35回 小野市地域公共交通会議 議事録

と き：令和7年6月18日（水）

13時28分～15時13分

ところ：小野市役所5階 特別会議室

第35回 小野市地域公共交通会議 議事録

1. 日 時 令和7年6月18日(水) 13時28分～15時13分
2. 場 所 小野市役所5階 特別会議室
3. 出席者 会 長 藤原 博之(小野市副市長)
監 事 岡嶋 正昭(小野市観光協会会長)
末廣 育生(小野市地域振興部道路河川課長)
委 員 木原 健太(神戸運輸監理部兵庫陸運部首席運輸企画専門官)
田中 厳光(兵庫県小野警察署署長)
⇒代理出席 紙田 夏樹(兵庫県小野警察署交通課長)
長尾 圭一郎(兵庫県北播磨県民局加東土木事務所所長補佐)
小林ふみこ(一般公募)
畑岡 孝弘(神姫バス(株)営業所長)
加門 昭三((一社)兵庫県タクシー協会地域交通委員会委員)
室谷 武彦(誠和運輸建設(株)代表取締役社長)
久野 実 (西日本旅客鉄道(株)西明石統括駅加古川線区長)
宮井 勇人(神戸電鉄(株)運輸部部長)
深江 克尚(北条鉄道(株)総務企画部長)
藤本 寿希(小野市総合政策部長)
オブザーバー 小玉 嗣人(兵庫県土木部交通政策課副課長兼地域交通班長)
⇒代理出席 奈良山 雅一(兵庫県土木部交通政策課地域交通班主任)
事務局 吉田 学、坪田 陸、藤原 麻紀
欠席者 委 員 奥田 一孔(小野市老人クラブ連合会副会長)
新屋敷 昭一((公社)兵庫県バス協会専務理事)
小幡 修司(神姫バス労働組合副執行委員長)

4. 内 容

(1) 開 会

(2) 協議事項

- ①令和6年度歳入歳出決算及び監査報告について
- ②令和7年度歳入歳出予算について
- ③「小野市地域公共交通計画」の評価について
- ④「小野市地域公共交通計画」に基づく令和7年度の事業計画について
- ⑤地域公共交通計画認定申請について

(3) 報告事項

- ①令和6年度地域内フィーダー系統確保維持計画に関する事業評価について
- ②「小野市地域公共交通計画」の策定について

(4) そ の 他

(5) 閉 会

(開 会)
事務局

それでは、開会にあたりまして、小野市地域公共交通会議の会長である小野市副市長藤原よりご挨拶申し上げます。よろしくお願いいたします。

会長

(開会のあいさつ)

公共交通全体がコロナ禍から回復し、乗車人数は増加傾向にある一方、燃油費の高騰、運転手の人員不足は深刻で、物があっても人がない状況です。

小野市では、全体の人口は徐々に減少しているのに対し、65歳以上の人口は減少しておらず高齢者ばかりが増えている状況で、高齢者にとっては益々公共交通が大切になっています。

らんらんバスでも利用者は増加しており、まだまだニーズは高まりつつありますが、運行経費も高くなりつつあり、その予算約2億円を今後どう確保するかが課題です。しかし、まだ十分に行き届いていないところもありますので、行政として皆さんと一緒に考え、進めていくのがこの会議ですので、忌憚のないご意見をいただければと思います。

事務局

(配布資料の確認)

(出席委員の自己紹介)

(欠席者の報告)

会長

それでは、ただ今から会議次第に従って進行させていただきます。

まず、協議事項1、令和6年度歳入歳出決算について、事務局より説明をお願いします。

事務局

(協議事項1_令和6年度歳入歳出決算について説明) 資料1

会長

続きまして、監事より、令和6年度の決算報告に係る監査報告をお願いいたします。

監事

(監査報告)

会長

それでは、協議事項1についてお諮りいたします。

協議事項1について、ご承認いただける方は拍手をお願いします。

各委員

拍手 ⇒ 承認

会長

ありがとうございます。

協議事項 1 について、承認いたします。

引き続き、協議事項 2 について事務局より説明願います。

事務局 (協議事項 2_令和 7 年度歳入歳出予算について説明) 資料 2

会長 それでは、協議事項 2 について、ご質問等はございませんか。

委員 数年前にも質問が出たかもしれませんが、支出の部の委託費 3 5 0 万円ですが、計画策定にあたって色々調査されると思いますが、その調査や作成していただく内容はどんなものがありますか。

事務局 まず、向こう 5 年間の補助に係る利用者見込み等の作成をします。
市外の路線バス、市内のらんらんバスの必要性等を分析し、交通計画上に数値で定めることで、国への補助金申請の材料となるので、必ず作成する必要があります。専門的なことになるため、コンサル事業者に委託し、正確な数字を算定してもらいます。

委員 わかりました。
金額の目安はありますか。

事務局 金額については、委託する内容によって変わってきます。
例えば、調査から計画書の冊子作成までを全て業者委託するとなれば、おそらく 5 0 0 万円を超えるため、今回は調査に関する数字の算出という必要最小限の委託としています。
先に計画策定をされた近隣市にも事前に金額をお聞きし、それに基づいて予算を計上していますので、大体相場の金額となっているものと考えています。

委員 その中でも必要最低限を吟味し、委託する内容を決められているということですね。

事務局 はい、そうです。最小限になっています。

委員 わかりました。ありがとうございました。

会長 先ほど申しましたように、この計画は必ず必要なものです。
計画の中でも、「どのようにしたい」とか「考え方」については、市の職員で作成することを前提としています。ただし、正確であるべき数字を算定する部分だけは委託とし、最小限の金額で予算計上させていただ

いているので、ご理解いただければと思います。

他に何かございませんか。

無いようですので、協議事項 2 についてお諮りいたします。

ご承認いただける方は拍手をお願いします。

各委員 拍手 ⇒ 承認

会長 ありがとうございます。

それでは、協議事項 2 についても承認といたします。

続きまして、協議事項 3 及び協議事項 4 について、事務局より説明願います。

事務局 （協議事項 3_「小野市地域公共交通計画」の評価について、協議事項 4_「小野市地域公共交通計画」に基づく令和 7 年度の事業計画について説明）資料 3、資料 4

会長 事業計画や評価についての説明でしたが、何かご質問やご意見はございませんか。

委員 （資料 3 ②の最終ページの誤りの指摘）

事務局 修正いたします。

委員 今年度は、地域公共交通計画を策定する年度になっているということでした。

ということは、1 年かけて次の 5 年間の小野市の交通の方向性を考えていくこととなりますが、その基礎となるデータはこれを使うことになるので、この年度で到達できたものについては好意的に評価をすることになるし、到達できなかった何点かについては、次どうしていくのかを考えなくてははいけません。

例えば、計画目標 1 の公共交通利用者は、目標値 2 5 7 万人に対して 2 3 7 万人で止まってしまったということになります。これを踏まえて、次の目標値をどう設定するかを考えることが必要なのですが、この目標値を出すためには相応の精度のある数値を出して、見直しや改善を踏まえた次の計画策定に是非繋げていただきたいと思います。ですので、計画目標 1 については、コロナ禍があったので、ある程度納得もするところ です。

公的資金投入額も、令和 6 年度は目標値 2 5 3 円／人・年を何とか達成していますが、令和 7 年度は運行経費は上がる一方だということを踏

まえると、この結果に対して次以降の目標値をどうするのかを考えていただいて、次回の会議で検討してくださいということです。これらは出ている数字なので、こちらから申し上げることはないのですが、この数字を覚えておいていただきたいということです。

その一方で、らんらんバスの実績が過去最高だったのは、いいニュースだと思います。

今日らんらんバスにりましたが、乗ったバスは満席でした。私がコミバスというものに乗って初めて見た光景です。たまたま時間がよかったのかもしれませんが、こんなに使われているものは是非伸ばして、この実績を大事にしていきたいと思います。

また、それを補完するようならんらんタクシーの取り組みもありますので、このあたりの検証をしっかり踏まえていただきたいと思います。

事務局

ありがとうございます。

計画目標値、数値の設定については、今後しっかりと考えるべきところと認識しています。

現計画では、令和元年度を現状値としていることから、コロナ禍で崩れてしまった部分が大きくありますが、それに加えて、令和元年度に比べると、高齢化に伴って人口も相応に減少しているため、コロナ禍だけを加味すればいいというものではないと考えています。

そのあたりをしっかりと見定めながら、次の交通会議では、そういった部分を加えた目標値の設定を提示できるよう準備してまいります。

会長

ありがとうございます。

専門的な視点からしっかりご指摘をいただいたので、次回計画にしっかり反映していきたいと思います。

他に、疑問を感じたとか、何かご意見はございませんか。

それでは、協議事項3、協議事項4についてお諮りいたします。

承認いただける方は拍手をお願いします。

各委員

拍手 ⇒ 承認

会長

ありがとうございます。

協議事項3、4は承認いたします。

それでは、次の協議事項5について、事務局から説明願います。

事務局

(協議事項5_地域公共交通計画認定申請について説明) 資料5、資料6、資料7

会長

協議事項5についての説明でした。

補助金等を国に申請する場合は、市だけで決めるのではなく、このような会議体を作り、皆さんの承認の上で申請をしてくださいということになっています。

この中で、何か不明な点、確認事項等はございませんか。

委員

では、追加説明だけさせていただきます。

2種類の補助金が、今議題に上がっています。

それぞれに、路線を走るための運行費の補助と、車両を購入した後の減価償却費の補助を国が行っていて、その申請をしていただくものです。

一つは地域内フィーダー系統というもので、駅だとか三宮行きや明石行きのバスに接続して市内中心部から沿線に伸びるバス、すなわちらんらんバスのことです。もう一つは、地域間幹線系統というもので、社～三宮線と社～明石線のことです。

ただ、国は計画の提出があれば何でも補助をするというわけではなく、その計画にそのバスがどのように位置づけられていて、小野市をはじめ皆さんがどのように支えていくのかを明記するのが条件の一つとなります。

次に、悪い状況が続くのに対して、必ずしも国が補助し続けるわけではないというふうに歯止めをかけたいので、収支率を1%上げることをお願いしています。未達成だからといって、補助がなくなるわけではありませんが、何とか経営状況をよくするための努力をしていただきたいのです。このご時世、経費を下げるのは無理ですので、売り上げを上げる取り組みが大事になるとお伝えしています。

計画には事業の目標が明記されますので、少なくともこの目標を目指すという覚悟で計画を出していただき、それに対して国が補助金をお出しするということになっています。

(資料5⑤理由書の説明)

会長

ありがとうございました。

先ほどの補足で、皆様には少しご理解いただいたかもしれません。

らんらんバスは、市にとっても非常に有効な市民の足です。そして、65歳以上の方の利用が非常に多いバスです。人数的には利用が増えるとはありがたいのですが、65歳以上は無料ですので収益は上がりません。しかしこれは福祉施策の一環ですので、収益を伸ばすものではありません。

一方で、一般の利用者については、新しい工業団地の操業が始まると、バスのニーズが出てきて、新たなバス路線を設けることになるかもしれません。そうすると、収益が増えますが、経費も上がることになるので、

路線の変更等を検討しながら、今後の計画に反映させる必要があると思っています。

では、他にご質問等はございませんか。

それでは、先ほどの協議事項5についてお諮りいたします。

ご承認いただける方は拍手をお願いします。

各委員 拍手 ⇒ 承認

会長 ありがとうございます。

協議事項5については承認といたします。

続きまして、次第3 報告事項を事務局から説明させていただきます。

事務局 （報告事項1 __令和6年度地域内フィーダー系統確保維持計画に関する事業評価について説明）資料8

会長 地域内での交通の事業評価の説明でしたが、一番大事なのは、地域内での市民の足をどうするかということと、都市部への移動の足をどうするかということです。

地域内での交通について、現在気になることやご意見を伺えればと思うのですが、〇〇委員いかがでしょうか。

委員 らんらんバスの経年劣化が気になります。

時々、ひまわりのラッピングがされていないバスを見かけることがあります、大丈夫かと気になることがあります。点検等もあると思うのですが、車両もかなり古くなってきているので、バスの管理状況はどうなっていますか。また、今後の更新の見通しはどうでしょうか。

事務局 安全安心な運行のため、運行距離等を踏まえて、更新すべき年度が来れば車両の更新をしていきます。

会長 車両の老朽化等も含めて、心配ではないかということでした。

運行されている〇〇委員から、アドバイスなりバスの管理について教えていただければありがたいのですが。

委員 法定で決められた点検（車検等）はきちんと受けております。

弊社でも、部材が上がった分の車両費の高騰もありますので、出来るだけ今の車両が長く使えるように、整備工場と連携を図りながら、各車両が長持ちするよう努めています。

会長

ありがとうございます。

バスの運行については、市も管理責任がありまして、現場からも何かあれば問題点で上がってきます。バスは、乗用車と違って耐久年数が長く丈夫ですが、過信せずに日々点検し、更新も進めてまいりたいと思います。

タクシーの状況はどうですか。

委員

現在、らんらんバスが9台11ルートを運行している中で、効率を考えると、利用度の高いところを中心に運行するのが一番いいのですが、まだまだ端々の運行が少ないところがありますので、それをカバーしていく手段として、タクシーやらんらんタクシーを使っていると思っています。

確かに、らんらんタクシーの施策でタクシーの利用は増えてましたが、それだけでは事業が成り立ってはいきません。都市部ではタクシー会社が増えているが、郡部では減少しています。その中でうまくバランスをとった施策を考えていただきたいです。らんらんバスの回りきれないところを、タクシーがカバーさせていただくような施策を考えていただければと思います。

また、らんらんバスもあと2、3台増車し、車両の更新もすると経費が大きくなるでしょうが、赤字のところは公共がすべきだと考えるので、隅々まで行き渡らせてほしいと思います。

運賃面についても、収入の仕方や金額を検討すべきだと思います。

今後、匠台や産業団地の利用度が上がるでしょうから、例えば医療センターのバスをうまくらんらんバスに取り込めないでしょうか。

これらのことを考えていけば、何か次の手が打てるのではないかと思います。

会長

貴重なご意見をありがとうございます。

行政がやることはたくさんありますが、市税を投入することなので、どこまで配分していけるかということが1点と、医療センターのバスについては、許可による規制があるため、らんらんバスのような運行は出来ないことをご理解ください。いい方法があれば有効に使いたいと考えてはいますが、現状は難しいところです。

続いて、報告事項2について事務局からお願いします。

事務局

(報告事項2__「小野市地域公共交通計画」の策定について説明) 資料9

- 会長 それでは、次第４ その他 に移ります。
皆様方からご意見をいただきたいのですが、鉄道の〇〇委員から、ダイヤ改正について簡単ご説明いただけますか。
- 委員 （令和７年３月１５日実施のダイヤ改正の概要等説明）
ープレス発表資料「ダイヤ改正の実施について」の説明ー
今後も鉄道のダイヤ改正があれば、らんらんバスとの接続について市と連携を密にし、利便性の高いダイヤに努めたいと考えています。
- 会長 ありがとうございました。
続いてバスの〇〇委員、お願いいたします。
- 委員 令和７年４月から電鉄小野駅天神線を休止しています。
運転士の不足、労働時間の短縮により、以前と同様のダイヤの運行が難しくなっている状況ですが、会社としては運転士の新規採用者を増やし、出来る限り減便せず、利用者の多い路線へバスを増やせるようにしたいところです。
ご期待に沿えるかはわかりませんが、これからも頑張ってまいりたいと思います。
- 会長 ありがとうございました。
どちらの路線についても、だんだん便数が減っているところです。特に鉄道の〇〇委員は、割と利用者が多い中で最終便が早くなったということですが、何か反響はありましたか。
- 委員 新開地方面から来る便はそんなに変わっていないのですが、栗生発三木行きが早くなっています。ダイヤ調査の段階でその便に１桁の方しか乗っておられなくて、その大半が小野駅で降りられるため、減便をいたしました。
- 会長 バスでも時間帯によって同様の状況が出てきているかもしれませんね。
今後、利用者も高齢化し、タクシーでは利用の多い午前中は車両が足りず、利用が少ない午後には車両が余ってしまうので、利用者に対して十分に周知をしながら、バランスよく使っていただけるようにしていければと思います。
他に、全体を通したご意見をいただければ、今後の交通政策に反映していきたいと思いますが、〇〇委員さんいかがでしょうか。

委員代理 昨今、高齢ドライバーの事故が多発していて、高齢の免許返納者が多数おられるので、安全な公共交通機関を使って生活していただきたいと思っています。返納者の中には、返納すると生活できないという方が多数おられます。バス停まで遠いとか、タクシーはお金がかかると聞きますので、より公共交通機関が利用しやすい環境を整備していただければ、免許を返納しやすい環境が出来ると思いますので、これからも免許返納を勧めていきたいと思っています。

会長 貴重なご意見ありがとうございました。
最後に、〇〇委員お願いいたします。

委員 先ほど〇〇委員が非常に重要な示唆をされました。
市内には、バスだけでなく数多くのタクシー車両が走っていますが、タクシーも同様に苦しい状況にあります。運転手が減少し、利用者が戻ってきていません。神戸市内などでようやく運転手の減少が下げ止まったようですが、地方ではまだそうではないと見ています。
その中で、如何にタクシーを使ってもらうかが難しい課題です。その一つが公共との連携で、小野市ではらんらんタクシーという取り組みがされているということでした。バスによる毎日運行が出来ていないエリアをカバーする手段として、タクシーとの連携は重要な視点だと考えますし、らんらんバスがない時間帯は、タクシーを活用した乗り合いタクシーで補完できないか等を検討するのも、次の交通計画の一つの課題になると思います。
本日は、次の交通計画に向けての非常に重要な会議だったと思っていますので、これを踏まえて皆様方にはよろしくお願いしたいと思っています。

会長 貴重なアドバイスをありがとうございました。
他に何かご意見はございますでしょうか。
無いようですので、以上で本日の議事を終了させていただきます。
会議の円滑な進行にご協力いただき、ありがとうございました。
司会進行を事務局へ返します。

事務局 委員の皆様、長時間にわたる熱心なご審議、そして貴重なご意見をいただき誠にありがとうございました。
本日の会議でご説明しました公共交通計画に基づく事業をはじめ、市民の皆様の期待に応えるような交通施策に今後も取り組んでまいりますので、よろしくお願いいたします。
以上をもちまして、本会議を終了させていただきます。
委員の皆様、ご出席いただきありがとうございました。

(閉 会)